

素材を引き立てる

照明は主役の素材を引き立てる名脇役

「なんかいね。。」
 のひかりの裏付けを考え巧みにひかりを
 操る仕事をするのです。
 いくらが雰囲気良くても、いくらが料理が
 最高の味であつても、相手の顔も、料理
 も見えないんじゃない「No」です。

ホテルのエントランス、雰囲気の良い
 レストラン、リラックスできる珈琲店、
 アレルシヨップまでも、
 ひかりに拘りを持って空間演出を考え抜
 いている場所は意外と沢山あります。
 ひかりは目に見えないからこそ心に響
 く。これが、私の照明設計の真髄。
 レストランでちよつと贅沢なひととき
 を感じた時、そこには、巧みに操られた
 照明で空間を演出しています。
 キャンドルが映えて（暗さ）、料理が美
 味しく見えて（演色）、相手の表情がわ
 かり（配光）、窓の外の夜景がきれいに
 見える（グレアレス）。ここに時間の移
 るいに合わせて明るさが変わる（調光）
 を加える事も照明設計の要素の一部です。

ひかりの効果は、このように

「なんかいね。。」

【ひかりを操る】



灯りコラム Vol.35



大事にしなければならぬのは空間の演
 出と同じくらい人の心を動かかし心を操る
 照明効果を考え設計すること。
 単に平面図や展開図から配灯計画をする
 だけではダメなんです。



そこにいる人が、どんな時間を過ごすの
 かを想像する。一秒一秒が記憶に残る断
 片として積み重なるように。
 こう考えると照明の当て方次第で「素
 材」の持ち味を引き立てるように演出す
 ることを自然に考えることが出来るよう
 になる。だから、照明は主役の素材を引
 き立てる脇役なのです。

照明の相談は

株式会社灯り計画



照明計画を切り口に暮らしの提案の幅
 を広げてみませんか？
 インテリアを引き立てる照明術。豊かな
 暮らしには、照明の効果や演出が必須ア
 イテム。
 こだわりの場所やちよつと自慢の場所の
 インテリアに灯りのスパイスを効かせた
 提案をしてみてもいいかがでしょうか。

info@design-akari.com

Tel : 04-7196-7142